

第4回

近江地域活性研究会

【とき】 2010年8月31日(火) 18時30分～21時30分 (交流会含む)

【ところ】 大学サテライト・プラザ彦根 (彦根駅前アルプラザ6階)

【内容】 「都市との移住・交流を通じた地域づくり

～梶 誠さんが語る集落に暮らす足助のとりくみ～」

紅葉で有名な「香嵐溪」がある豊田市足助地区の南西部に位置する野林町。44世帯のうち、16世帯が里山の自然や既存の集落の人たちにとけ込む形で移住し、それぞれの暮らしを実現している。人口流出、耕作放棄地の増加に危機感を覚え、98年から時間をかけて定住希望者との交流を続けてきた。自然観察会、炭焼き塾、など様々な交流イベントや「高嶺下ファームビレッジ構想」など定住希望者を受け入れるとりくみを行ってきた結果である。

今回は、地元と移住者や来訪者のつなぎ役に徹しながら、これらの活動に主体的にとりくんでこられた梶誠さんに、集落に暮らす足助のとりくみをお話いただきます。

さらに、とりくみ当初から知る押谷茂敏さんに、梶さんのとりくむ姿が地域の内外にもたらした影響と滋賀県内でのとりくみとの違いなどについて解説いただきます。

◆講師紹介◆

○梶 誠さん (豊田市野林町在住)

98年に地域に移住者を受け入れることを目指して、「埜快委員会」を立ち上げ、自ら率先して定住希望者とのイベントや交流会にとりくむ。地元住民と移住希望者が理解し、受け入れられるように定住者の相談役、地元住民と定住者の橋渡し役として活躍している。これらの活動が認められて、09年度地域づくり総務大臣表彰受賞。

○押谷茂敏さん (押谷地域設計代表)

旧浅井町出身で、地域づくりのコンサルタントとして活躍。これまで主に中山間地域の地域計画に携わる。足助のまちづくりには地域問題研究所(名古屋にあるシンクタンク)時代から関わる。ここ数年は、地元の湖北地域を中心に県内各地で、専門家として移住交流や都市農村交流活動を行っている。

【参加】 500円(交流会費として) ※下記申込先までメールにてご連絡ください。

★近江地域活性研究会とは

社会経済状況が一層厳しさを増し、また、環境問題が世界的な課題になる中、滋賀が有する豊かな自然・歴史・文化や資源などの地域特性を活かした地域活性のあり方を明らかにするとともに、その推進に資する調査研究に取り組み、これからの滋賀の持続的な発展に寄与することを目的とする組織です。

滋賀県立大学を始めとする県内大学の関係者、県市町の行政関係者、近江環人、民間の実践者、市民研究者等が主な会員です。

現在、月に1回程度、研究会(終了後、地域活性化交流会)を開催し、調査研究、ネットワーク構築を進め、成果を地域に還元し、滋賀の地域活性化を目指しています。

<<申込・問い合わせ先>>

近江地域活性研究会事務局

●滋賀県立大学地域づくり教育研究センター

E-Mail : chiiki@office.usp.ac.jp

●滋賀県庁自治振興課

E-Mail : bh0001@pref.shiga.lg.jp

